



連日、US行きの激しいオーバーブッキングが続いています。現場では、「ロードファクター重視だけでなく、本来の良いサービスとは何なのか」と考えさせられる毎日です。新生デルタの重視するHVC（ハイ・バリュー・カスタマー）のお客が増えれば、このような状況も減少するのでしょうか？

成田、6月の国際線旅客数は20%増—日本人、外国人ともに大幅増

掲載:2010年7月30日 トラベルビジョン

成田国際空港（NAA）によると、2010年6月の国際線旅客数（速報値）は、前年比20%増の270万8253人となった。2009年8月に1%増となって以来、11ヶ月連続のプラス成長。通過客は10%減の59万890人と減少したものの、日本人旅客が32%増の140万7315人、外国人旅客が31%増の71万48人と大きく伸びた。国内線旅客も56%増の13万9741人であった。

また、2010年上半期で見ると国際線旅客数は10%増の1597万6100人で、このうち日本人旅客は9%増の833万9907人、外国人旅客は18%増の439万3125人であった。なお、国際線旅客便の発着回数は、6月単月では1%増の1万2339回、上半期では1%減の7万3268回となった。

6月の国際線需要は12%増、欧州以外は2ケタ増に—ロードファクターは約8割

掲載:2010年7月30日 トラベルビジョン

国際航空運送協会（IATA）によると、2010年6月の国際線旅客需要は前年比11.9%増となった。欧州以外の全地域で2ケタ増となるなど好調であったため。座席供給量は微増に留まり、ロードファクターは79.8%で史上最高値となった。旅客数は、経済危機前のピークである2008年第1四半期を1%から2%上回っているという。

地域別の需要では、アジア太平洋で中国が全体を牽引して15.5%増となったほか、北米は10.8%増となった。北米はロードファクターが86.6%で全地域で最も高くなった。

なお、5月の国際線旅客需要は全体で11.7%増となり、座席供給量が4.8%増であったため、ロードファクターは76%となった。

シンガポール航空、関空線を週3便増便、冬期は週10便体制に

掲載:2010年7月28日 トラベルビジョン

シンガポール航空（SQ）は10月31日から2011年3月26日の冬期スケジュールで、シンガポール／関西線を週3便増便する。スケジュールは関空を23時30分に出発し、早朝にシンガポールに到着するため、到着当日から現地でビジネスや観光などが可能となるほか、SQのシンガポール以遠便への乗継の利便性も向上する。これにより、冬期スケジュール中のSQの関空線は、既存のデイリー運航便とあわせ週10便に拡大する。

運航開始日は11月1日で、機材はエアバスA330-300型機を使用。ビジネスクラス、エコノミークラスの2クラス制で、いずれも最新バージョンの機内エンターテインメントシステムを導入している。

日本経団連発表の業界別2010年度夏季賞与・一時金です。日本経団連が20日発表した今夏の大手企業のボーナス妥結額(もちろん、半年分ですよ!)は、163社の平均で前年夏比0.55%増の75万7638円で、2007年以来3年ぶりに増加した。また、支給日については言及していませんが、九分九厘、例年より2ヶ月以上も支給が遅れる会社はありません。

2010年夏季賞与・一時金 大手企業業種別妥結結果(加重平均)

2010年7月20日
(社)日本経済団体連合会

【最終集計】

業 種	2010年 夏季			2009年 夏季		
	社 数	妥 結 額	増 減 率	社 数	妥 結 額	増 減 率
	社	円	%	社	円	%
非鉄・金属	14	653,269	3.36	14	632,009	△ 23.30
食品	11	866,667	9.73	11	789,790	1.12
繊維	18	672,358	13.18	18	594,078	△ 24.72
紙・パルプ	6	706,828	2.87	6	687,131	△ 7.38
印刷	3	556,697	17.68	3	473,046	△ 21.04
化学(硫安含む)	24	762,115	1.18	23	753,222	△ 11.46
[化学]	[22]	[783,159]	[2.02]	[18]	[767,640]	△ 10.25]
[硫安]	[2]	[599,689]	[△ 11.78]	[5]	[679,800]	△ 18.13]
ゴム	6	699,451	2.93	7	679,544	△ 11.07
セメント	6	590,021	△ 8.68	5	646,089	△ 5.50
鉄鋼	10	634,828	△ 25.06	10	847,130	△ 18.91
機械金属	5	703,176	△ 17.37	4	850,969	△ 2.12
電機	6	712,079	6.72	7	667,252	△ 20.33
自動車	19	784,330	2.94	19	761,951	△ 27.77
車輦	3	583,166	△ 6.21	3	621,773	△ 1.51
造船	3	796,472	△ 0.26	7	798,588	△ 4.32
商業	4	(従) -	-	4	(従) -	-
私鉄	13	(従) 808,187	△ 3.61	14	(従) 838,438	△ 3.56
[民鉄]	[9]	[(従) 772,617]	[△ 0.68]	[9]	[(従) 777,889]	△ 1.69]
[JR]	[4]	[(従) 824,339]	[△ 4.68]	[5]	[(従) 864,851]	△ 4.41]
通運	1	-	-	1	-	-
電力	10	-	-	10	-	-
ホテル	1	-	-	1	-	-
総平均	社 163	円 757,638 (689,222)	% 0.55 (0.79)	社 167	円 753,500 (683,845)	% △ 17.15 (△ 13.17)
製造業平均	134	741,395 (672,797)	1.02 (1.11)	137	733,880 (665,418)	△ 21.32 (△ 14.94)
非製造業平均	29	804,706 (765,116)	△ 0.77 (△ 0.37)	30	810,985 (767,991)	△ 3.47 (△ 5.61)

- (注) 1) 調査対象は、原則として東証一部上場、従業員500人以上、主要21業種大手251社
 2) 21業種208社(82.9%)で妥結しているが、このうち45社は平均額不明などのため集計より除外
 3) 「平均」欄の()内は一社あたりの単純平均
 4) (従)は従業員平均(一部組合員平均含む)
 5) 増減率の△印はマイナスを示す
 6) 集計社数が2社に満たない場合など数字を伏せた業種があるが、平均には含まれる
 7) 2009年夏季の数値は、2009年7月31日付最終集計結果
 8) 最終集計における「増減率(%)」は、前年公表値(最終集計)との比較により算定

今週末には、団交が??? 「ええ、まだ春闘!？」なんて驚くのも無理ありません。

ところで、一時金の支払いは? 会社側からの「お知らせ」にも注視を!

どうか労組の団交速報と比べてみてください。

DL労組は、「支給日」も大切な労働条件のひとつと考えます!